

地域の自然・食・人とのふれあいを肌で感じることが出来るサイクルツーリズム。

初めて訪れる場所、一度訪れたことがある場所、自分の足でペダルを踏み、訪れることで、まだ知らない県南地域の一面を知ることができます。

歴史と個性豊かな各地域の温泉や海の幸、山の恵み。地域の特性を生かした観光資源と直接触れ合えるという点ではサイクルツーリズムは最適とも言えます。

あなたも地域の魅力を再発見する旅に出かけてみてはいかがでしょうか。

さあ今こそ、自転車に乗って旅に出かけてみませんか――



八代～水俣地域の魅力をサイクリングを通じて発信したい

海外からの観光客を増加させるためのインバウンド施策により、旅行の内容は買い物主体の「モノ消費」から体験型が主体の「コト消費」へシフトしています。その体験型観光の一つとして、サイクルツーリズムが注目されています。

令和3年11月に発足した「八代及び水俣・芦北地域サイクルツーリズム推進協議会」の発足までの経緯とサイクルツーリズムの魅力、今後の展望をお聞きました。

八代、水俣・芦北地域は、不知火海や九州山地といった豊かな自然を有しており、日本遺産に認定された石橋群や古くからの温泉地がある一方で、くまモンポート八代など、新旧併せ持った歴史・観光施設が存在しています。温暖な気候のもと育まれた豊かな食文化や、美しい不知火海の景観を生かしたマリンアクティビティなど、多種多様な観光資源も有しています。

高速道路や鉄道網などの交通インフラも整備されているため広範囲からの誘客が期待でき、サイクルツーリズムには最適な地域です。自転車は子どもから大人まで幅広い世代で楽しむことができ、健康増進につながることや、環境に配慮した移動手段であることも魅力です。



熊本県南広域本部
総務部振興課
しょうじなが りょう
小路永 凌さん



八代及び水俣・芦北地域
サイクリングマップ

令和4年11月には、八代、水俣・芦北地域の2市3町で「八代及び水俣・芦北地域自転車ネットワーク計画」を策定し、県や市町が管理する道路を中心に4つのサイクルルートを選定。八代、水俣・芦北地域サイクリングマップを作成し、道の駅などで配布しています。県のホームページからも閲覧可能です。

すでに受け入れ環境を整えるため、自転車走行空間で路面の舗装・補修や自転車マーク、矢羽根表示などの設置も進めています。地域の私たちにもサイクルツーリズムの魅力を知ってもらえるサイクルイベントを計画しています。

地域の食や景色、歴史・文化など、豊富な観光資源の魅力をサイクルツーリズムを通じて県内外多くの人に体験してほしいです。

自転車の基本ルール

快適で安全なサイクリングをするために、基本的なルールをしっかりと守りましょう。

【自転車安全利用のための5則】

- ①車道が原則、左側を通行。歩道は例外で歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用

自転車向け汎用アプリ（Ride with GPS）との連動

ルート設定のしやすさ、シェアのしやすさなどでロードバイク乗りの使用率が高いルート作成アプリ「Ride with GPS」。ルートを設定すると詳細な距離と高低図が表示されるほか、誰かが作ったルートをなぞって走ることもできます。ナビ画面にはリアルタイムで走行距離、時間、獲得標高、平均速度などを表示。



App Store



Google Play